

# 新因島総合支所庁舎 基本設計概要資料



新因島総合支所庁舎外観イメージ（南側海より）

H28.7.21 現在（計画の進捗により変更になる場合があります。）



新因島総合支所庁舎外観イメージ（北側道路より）

H28.7.21 現在（計画の進捗により変更になる場合があります。）※無断転載を禁止します。

# 建築計画

## ◆敷地概要・建築概要

		敷 地
敷地概要	所在地	広島県尾道市因島土生町7番地4
	区域区分	非線引
	用途地域	近隣商業地域
	日影規制	規制なし
	その他区域	景観計画区域
	周辺道路	北側 県道西浦、三庄、田熊線
	敷地面積	6,022.95㎡
	許容建蔽率	80%
	許容容積率	300%

建築概要	主要用途	事務所（庁舎）
	建築面積	1,500.98㎡
	（建蔽率）	（建蔽率23.95%）
	延床面積	1,859.32㎡
	（うち容積対象）	1,819.13㎡
	（容積率）	29.03%
	階 数	2階
	基準階地盤面	—
	1階床高	GL+150mm
	基準階高	1～2階：5,350mm、2～3階：4,500mm
	建物高さ	14.4m
	構造種別	鉄筋コンクリート造
地 業	地盤改良+直接基礎	
駐車台数	61台（一般：36台、公用車：25台）	

## ◆新庁舎／建築基準法面積

	容積対象	容積対象外		
		昇降路	防災関連諸室	駐車場
R階	47.00㎡	8.28㎡		
2階	959.51㎡	5.63㎡		
1階	812.62㎡	5.70㎡	20.58㎡	
小計	1,819.13㎡	19.61㎡	20.58㎡	
合計	1,859.32㎡			

※ 防災関連諸室：非常用発電機室、オイルタンク室

## ◆尾道市因島総合支所新庁舎 整備費概要 (億円)

	税別	税込 8%	税込 10%
建築主体	6.17	6.67	6.79
（直接仮設）	(0.18)	(0.20)	(0.20)
（土工）	(0.35)	(0.38)	(0.39)
（地業・杭）	(0.47)	(0.51)	(0.52)
（躯体）	(1.92)	(2.08)	(2.10)
（外部・内部仕上意匠）	(3.25)	(3.50)	(3.58)
電気設備	0.86	0.93	0.95
空調設備	0.82	0.89	0.90
昇降設備	0.40	0.43	0.44
衛生設備	0.20	0.21	0.22
<b>建設工事費</b>	<b>8.45</b>	<b>9.13</b>	<b>9.30</b>
解体費	1.81	1.96	1.99
支所庁舎	(1.20)	(1.30)	(1.32)
附属棟A	(0.15)	(0.16)	(0.17)
附属棟B	(0.04)	(0.04)	(0.04)
その他附属物	(0.02)	(0.03)	(0.02)
水槽	(0.04)	(0.04)	(0.04)
外構	(0.11)	(0.12)	(0.12)
アスベスト含有材除去	(0.25)	(0.27)	(0.28)
<b>外構整備費</b>	<b>0.44</b>	<b>0.48</b>	<b>0.48</b>
設計・監理委託	0.40	0.43	0.44
備品購入費、移転費用	0.86	0.92	0.95
<b>総事業費</b>	<b>11.96</b>	<b>12.92</b>	<b>13.16</b>

# 建築計画

## 設計コンセプト (計画説明書)

### 景観デザインの考え方

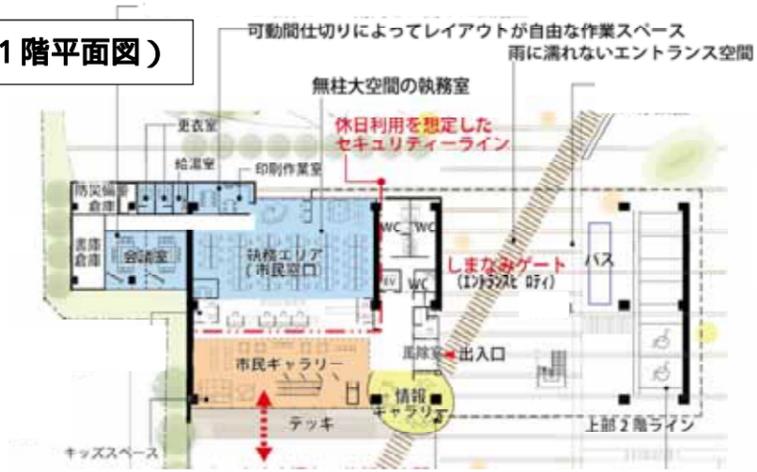
《テーマ》因島の景観に配慮し、地域のシンボルとなる空間デザイン

瀬戸内の美しい海への眺望を最大限活かす、海に向かって開放的なデザイン  
 町から海へと抜ける「しまなみゲート」により、広場の先に広がる美しい瀬戸内の風景を取り込む  
 地域住民、サイクリスト、観光客の出会い、集いが生まれ、地域のシンボルとなる庁舎

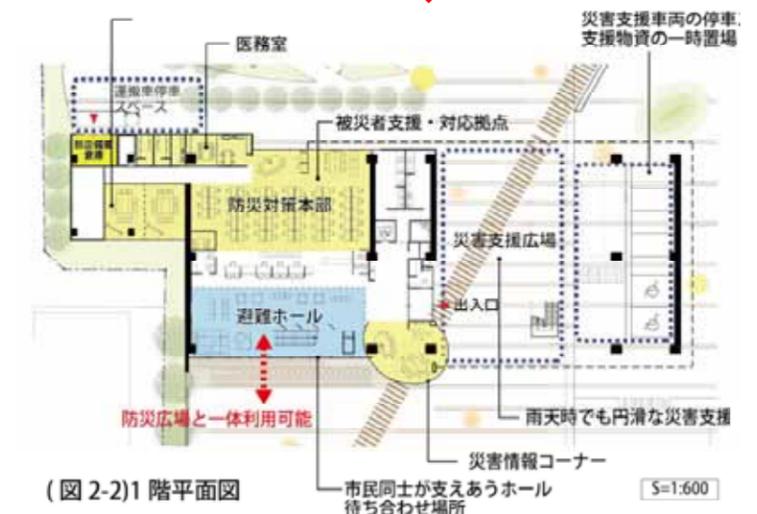


## 安全・安心な庁舎

(平時・1階平面図)

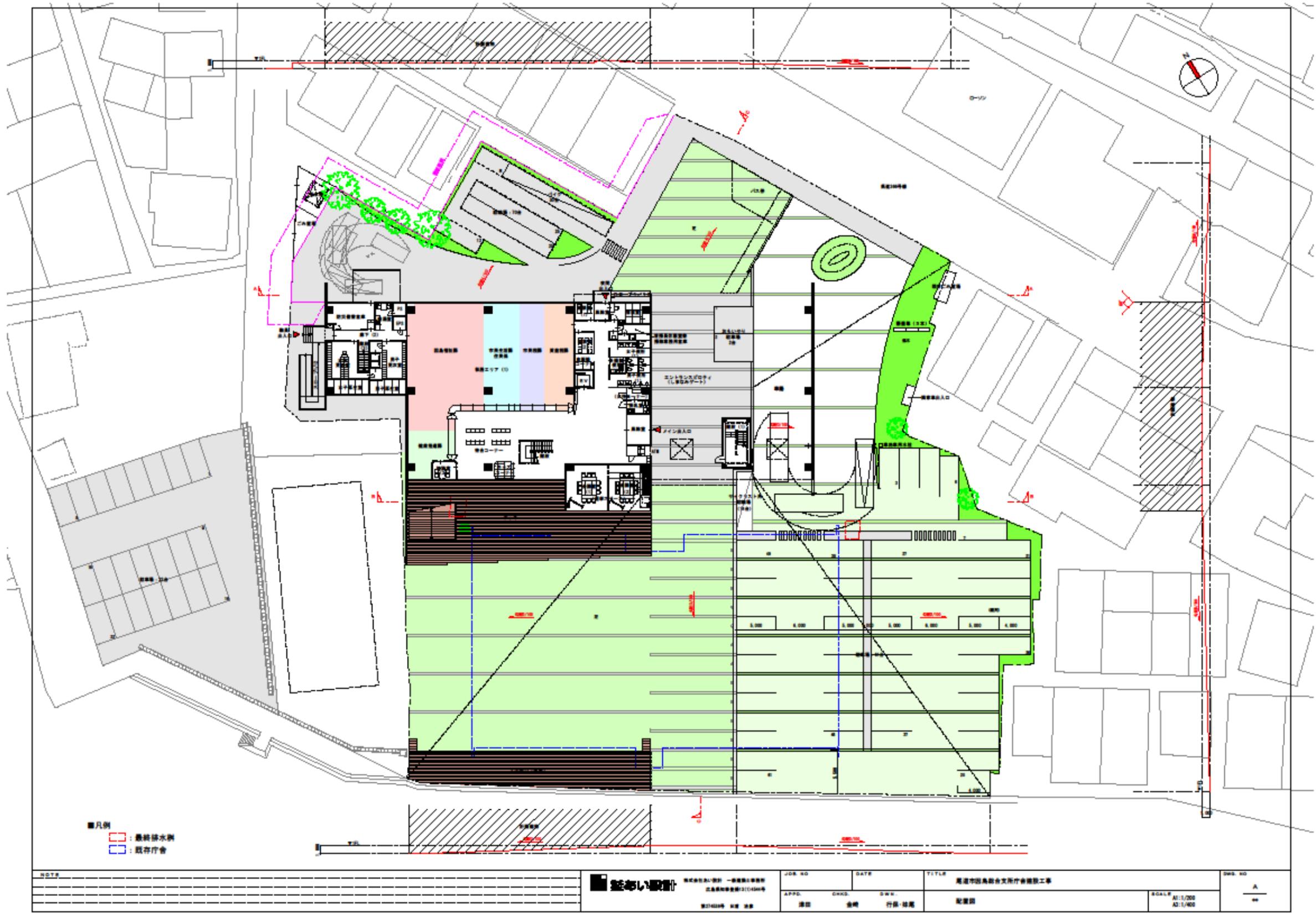


(災害時・1階平面図)

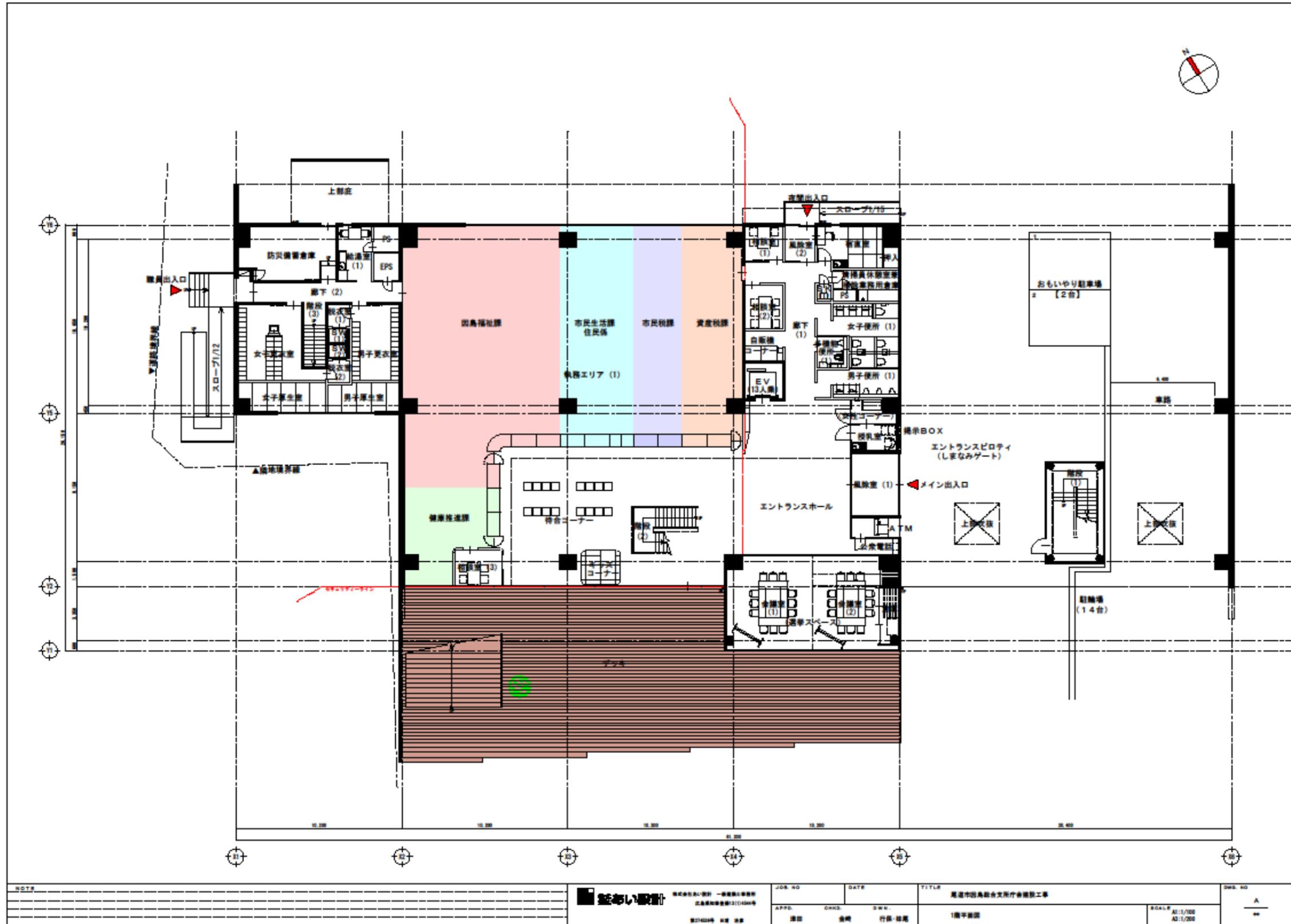


津波浸水対策として建物レベルをT P 3 . 9 mに設定  
 1階フロアの約半分をピロティ空間とすることで、津波による建物被害を軽減  
 庁舎の東西に外階段を設置し、津波に対する迅速な避難が可能

# 外観

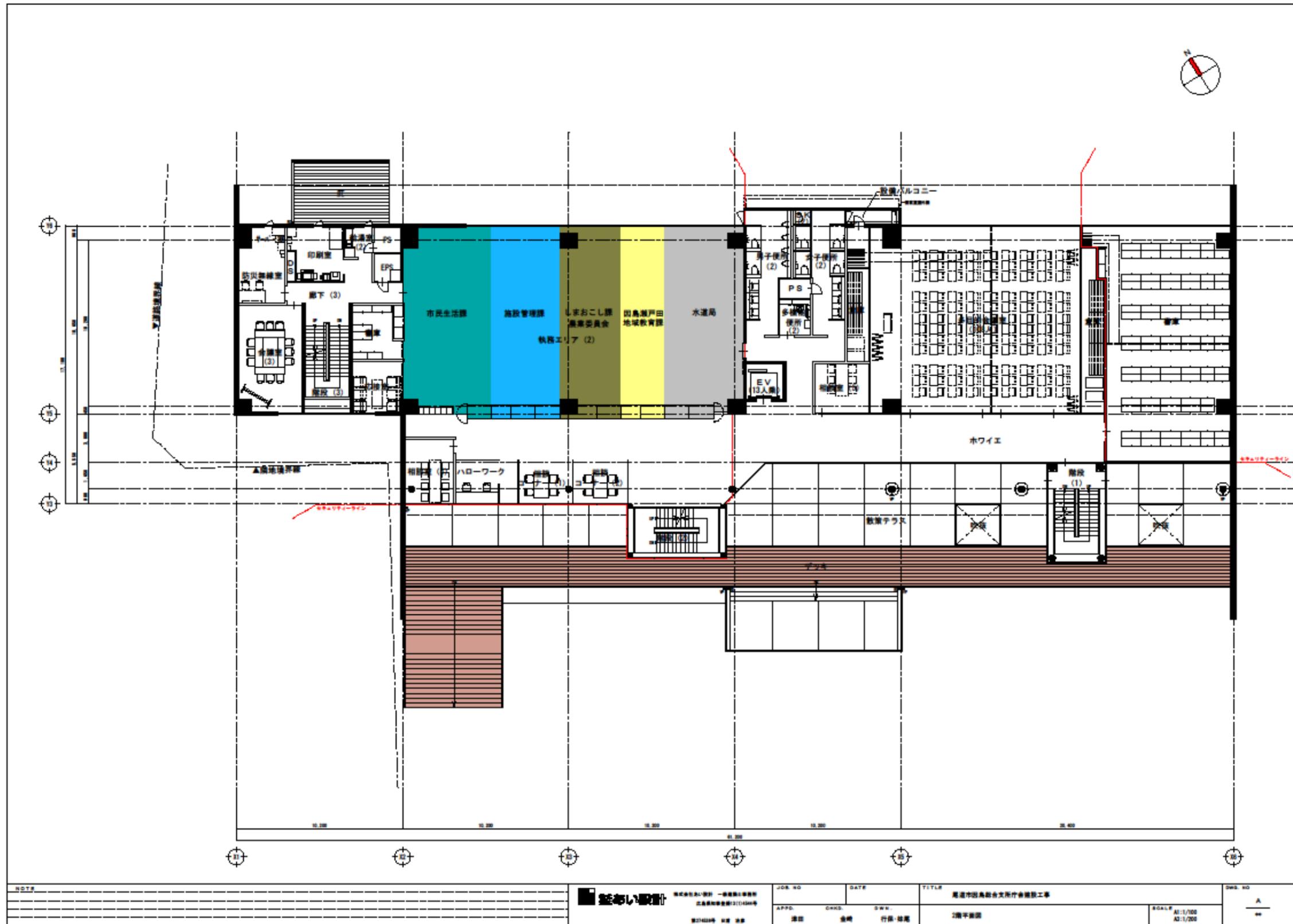


# 1階



NOTES	<b>まおのい設計</b> 株式会社まおのい設計 一級建築士事務所 広島県広島市東区1-1-1 TEL: 082-231-1111 FAX: 082-231-1112 201404 04 04	JOB NO.	DATE	TITLE	DWG. NO.
		APPL.	CHKD.	OWN.	A
		建築	金野 行保・尾尾	尾道市図書館分館庁舎建設工事	1階平面図
				SCALE: A2: 1/200 A3: 1/300	**

# 2階



NOTES

株式会社 たいせい設計

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 本館 03-5561-1111  
 支店 03-5561-1112

JOB NO. DATE TITLE  
 APPL. CHKD. DWN.  
 渡辺 金崎 行保・松尾

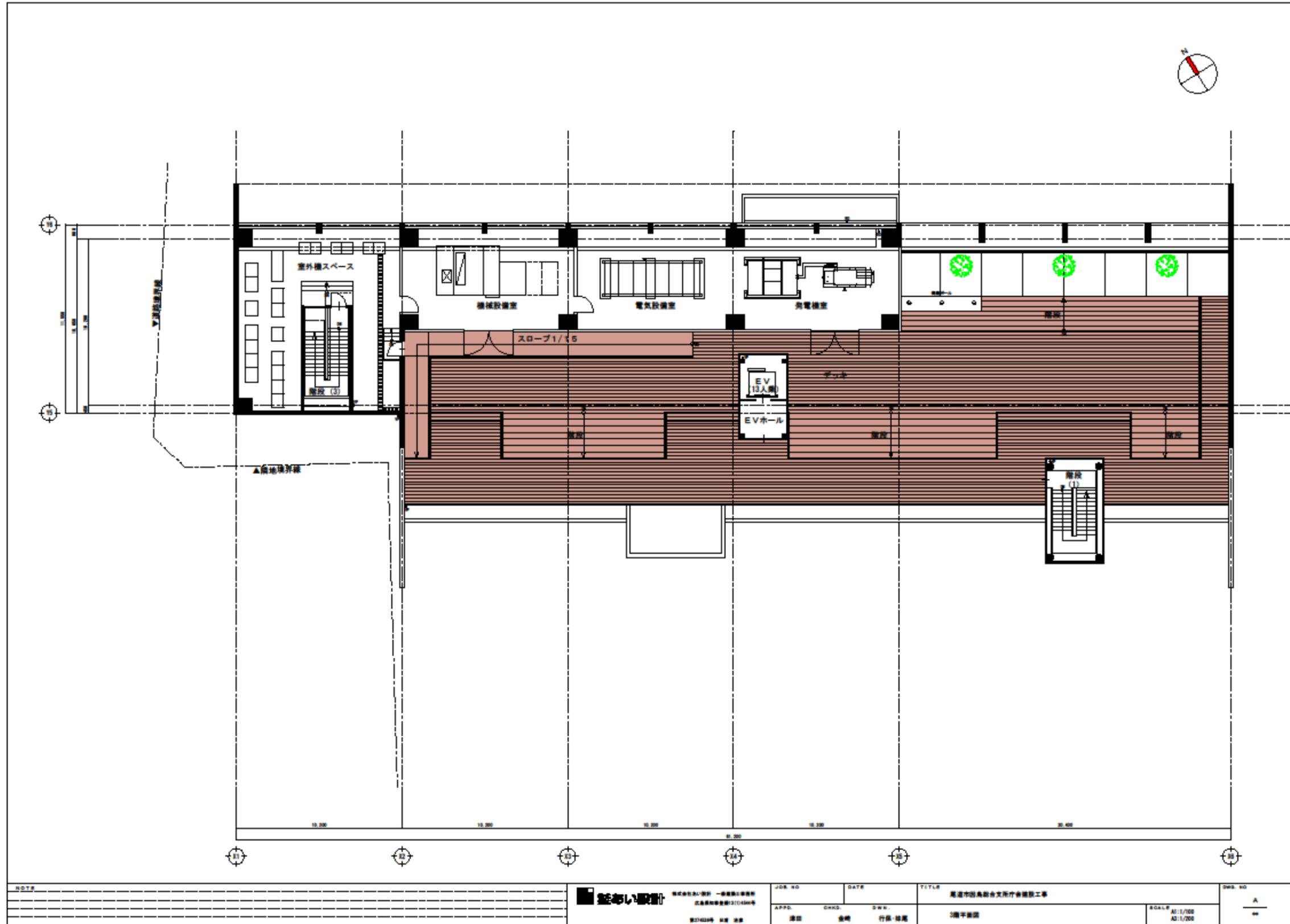
尾道市図書館分館庁舎建設工事

2階平面図

SCALE  
 A0: 1/200  
 A1: 1/200

DWG. NO.  
 A  
 \*\*

# 屋上



地盤改良工法比較表

【プロボ時提案工法】

工法	ラップルコンクリート事業	柱状地盤改良工法	ブロック状地盤改良工法	砕石パイル工法
				
地盤改良明細	F1 6400×6400=6ヶ所 F2 5600×5600=4ヶ所 F3 4800×4800=3ヶ所 F4 4200×4200=4ヶ所 F5 2000×2000=5ヶ所 計 22ヶ所	φ1500×6.7m(掘削長) 改良本数 270本 改良長 4.65m	F1 6400×6400=6ヶ所 F2 5600×5600=4ヶ所 F3 4800×4800=3ヶ所 F4 4200×4200=4ヶ所 F5 2000×2000=5ヶ所 計 22ヶ所	現状のプランが下記の適応範囲を超えた為、不採用としました。  適用範囲 ①地上3階以下 ②高さ13m以下 ③軒高10m以下 ④建築面積1000㎡以下 (平野に限り建築面積2000㎡以下)
施工手順	施工可能深度は5m程度、通常は基礎底までの1次掘削を行った後、改良工事を行う。(1次掘削土の仮置きスペースが必要)	施工可能深度は10m以上が可能。現況の地盤面から施工が可能。(1次掘削が不要なため仮置きスペースが不要)	施工可能深度は5m程度、通常は基礎底までの1次掘削を行った後、改良工事を行う。(1次掘削土の仮置きスペースが必要)	
支持層確認	目視による支持層確認が可能。	先行してボーリング位置にて施工を行い、その際に記録した支持層深度のモーター電流値を基準として支持層確認を行う。	目視による支持層確認が可能。	
施工費	¥54,456,200	¥35,560,000	¥29,502,420	
残土処理費	¥9,538,000 (一般残土)	¥6,840,000 (汚泥)	¥4,077,500 (一般残土)	
合計	¥63,994,200	¥42,400,000	¥33,579,920	
追加山留工事費 (概算工事費において¥11,370,000を計上済)	¥26,480,000	¥0	¥26,480,000	
合計	¥90,474,200	¥42,400,000	¥60,059,920	
施工日数(機械・組立・解体含む)	25日間	20日間	20日間	
総合評価	×	○	△	

考察

地質調査の結果、当敷地の表層地盤は地震発生時に液状化現象を起こす危険性がある事が分っています。ただしGL-5.0m付近からは液状化現象を起こさない、当計画建物を支持するのに十分な耐力を持った地層が分布しています。この結果から、直接基礎では地震発生時に液状化現象により建物に有害な沈下等の被害が生じる可能性があります。ただし、杭基礎を採用するには支持層が浅すぎるため、当計画の基礎種別は地盤改良を併用した直接基礎が適していると判断しました。地盤改良工法にも幾つかの工法がありますが、上記比較の結果「柱状地盤改良工法」が適していると判断しました。

